

# 風を感じて No. 343

## R5. 1月

寒とも本格的となる季節となりました。

皆様、どのような新年をお迎えでしょうか？



編集 原誠一、文山

1/4 TEL, FAX 0968-26-4339  
info@haranoujyo.com

元日、近くのお客へお参りに行きました。

昨年、無事に過ぎせしことへのおれと、今年の無病息災を祈願致しました。

雪が積もった年もありましたが、今年は、ホカホカと暖かい日差しに包まれ、立派な門松を、

掃き清められた参道に迎えられ、心も晴れぱれとして、思いでお参りできました。



④ 麦 昨年、11月下旬から12月上旬に種を播いた麦は、すべてきれいに発芽し、順調に生長しています。

昨年は、発芽率の悪い畑が数枚あり、悩んで末に播き直しをしたもの。その後の生長も悪くて、つい思いをしました。ですから、こうしてきれいに発芽してくれると本当に嬉しいものです。

種播き後は、厳しい寒さが続いていますので、ゆっくりとした生長ですが、そろそろ雑草も生えてきますので、

中耕したり、麦踏みをしたり、と忙しくなってきます。

七草がゆで体をいたわり、鏡開きでは、鏡もちでせんざいを作り食べます。もう一つ、「大寒卵」というのを御存じでしょうか。大寒にとれて、卵は栄養豊富で貴重な縁起もので、食べると健康運も。

金運も上がるとか……。七十二候では、1月下旬に

「鶏始めて乳す（鶏が卵を産み始める）」の候を迎えます。

一年中食べられるのが当たり前のように思っていた卵。

昔は鶏の産卵にも旬がありのです。

## 渡り鳥

…は、季節によって住む場所を変えます。そのため、長い距離を飛んで来るのですが、どうやって目的地へたどり着くのでしょうか…。鳥の種類によって違いはありますか？ 昼間に渡る鳥たちは、地形を覚えていて、川や岬、海岸を見てそれに沿って移動したり、太陽の位置を見ながら方向を確かめたりしています。

夜に渡る鳥なら、星を手がかりにしていることが多く、北極星やそのまわりにある星座を手がかりに飛んでいるといわれています。

そして、生まれつき、頭の中に南と北の方向を区別する力があることもあがっています。そのため、くもりの時でも、こういう生まれつきの力を使い、飛ぶことができます。一つの方法だけに頼るのではなく、いろいろな方法や能力を全部使って渡る方向を決めているのです。又、渡った経験のある鳥がリーダーになって、群れを引っ張っていくこともありますが、迷子になら鳥もいるようです。

渡り鳥のことを調べるために、渡り鳥の足に番号を書いたリングをつけさせてきました。そのお陰で、日本で「リング」をつけた鳥が世界のあちこちで見つかりどこへ渡るのかがわかるようになりました。又、発信器付きのリングをつけて、人工衛星で追うことができ、今、どこにいるのか、すぐにわかるようになります。

近くの川には、11月にたくさんのカモが飛来ってきて、春になると、どこかへ帰っていきます。どこから来てどこへ帰るのか…同じ鳥たちがやって来るのか…などなど、不思議がいっぱいの渡り鳥です。

12月31日から1月1日へ…ただ日付けが変わるだけなのですが、心には大きな変化があるものです。年末の大掃除や迎春準備など、亮壁にできていなくても、新しい年を迎えるということは、大きな節目として、とても大切なことだと感じています。

今の世界情勢は、明るいものではありませんが、すべての人へ幸せが訪れる平穡な日々が送れるよう、これから祈りたいです。

寒さ厳しき折、くれぐれもご自愛下さい。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

